

住みよい小山をつくる会 第4回企画会議 議事概要

日 時：平成18年5月11日（水） 午後7時～午後9時20分

会 場：小山公民館 中会議室

1 議題1 安全・安心まちづくり推進協議会支部について

(1) 安全・安心まちづくり推進協議会支部について説明

- ・支部の会則は、つくる会と同一の組織をイメージしてつくる会の会則をベースに作った。
- ・小山支部設立及び支部による安全安心まちづくり推進協議会交付金（17万円交付予定）の交付申請のため、支部の事業計画案と予算案を作成する必要がある。小山地区内の防犯、交通安全活動の実態を把握するために、各団体にどのような活動をどの程度の予算で行なっているのかを伺う調査を実施したい。

(主な意見)

- ・学校としては、各自治会で自主的にパトロールされているということなので、各自治会にお集まりいただいて、向陽小地区全体のパトロールの構想について協議する会議を開きたいと考えている。6月初めには各自治会に会議のお知らせをしたい。地域全体の動きを把握し、学校の情報も発信しながら、皆さんと総体として動けるようにしたい。
- ・全体のパトロール構想を各団体に周知徹底していただき一緒に動けるようにしたい。

企画会議の名称で調査を実施することとなった。調査表の配布先は以下の小山地区の各団体とし、企画会議のメンバーが手分けして配布、回収することとなった。

学校（小学校、中学校）、自治会連合会、各自治会、青少年健全育成協議会、子ども会育成連絡協議会、各子ども会、公民館、老人クラブ連合会、各老人会、防犯協会、交通安全協会、消防団

2 議題2 会則、情報発信について

つくる会役員、広報用のチラシづくりの担当者について、候補者などを議論した。

(1) 役員候補について

- ・役員には地域の活動に欠かせない人になっていただきたい。
- ・つくる会は地区全体で協力できる仕組みにしたいので、代表には全体を見渡せるような人を推したい。
- ・地区には9自治会があり、地域の活動の核になっている。代表はこれらの自治会をまとめることができる人にしたい。
- ・副代表、会計には、地区のいろいろな団体から出るといいのではないかと。団体のバランスをとる必要がある。

(2) チラシづくり担当者の検討

- ・原版を作ってくれば、役所で印刷をする。紙などの消耗品も役所で負担する。できればパソコンができたほうがいいと思うが、手書きの版下でもかまわない。
- ・チラシの発行頻度は、定期的なものは考えていない。さしあたり下校時のパトロールの呼びかけといったことを考えている。活動の必要に応じて作ることになる。

3 議題3 中長期的な活動について

安全安心の活動のほかに、つくる会で取り組むべき活動について、アイデアを出し合った。

(1) 基地返還運動への対応

- ・小山地区には米軍基地があることが大きな特徴。基地に関するテーマにも取り組む必要がある。

(2) 住民の交流施設

- ・地区には小山公民館しか住民が交流できる場がないが、手狭になって使い勝手がよくない。公民館がコミュニティセンター的な役割も担っている。公民館の移設も視野に入れて住民に使いやすい交流の場を検討したい。

(3) ゴミの散乱・ゴミだしマナーの低下

- ・カラスがゴミをあさって散らかす。駅前の通り、氷川通り、すすきの通りなどはゴミが散乱している。自治会加入率も低くなってきており、ゴミ出しのマナーが悪い。ゴミの問題を検討したい。
- ・環境美化ができれば犯罪も起こりにくい。

(4) 役員負担の分散・地域活動への参加者拡大

- ・なにか1つの組織の役員になると、次々と他の組織の役員になって関わるようになる。特定の人に役員が集中して負担が大きい。負担を分散する工夫を検討する。
- ・地域でどういう団体がどんな活動をしているのか、つくる会に入って初めて分かってきた。地域活動に関わらない人はずっと分からない。いかに多くの人に関わってもらって、分かってもらうかが課題。

(5) 地域への無関心、情報連絡の不通

- ・隣近所に無関心な人が増えて、連携ができない。情報が回らない。回覧を回しても読まずに戻ってくる。地域のことに関心をもってもらうにはどうしたらいいか。
- ・ネットワークづくりが必要。
- ・通学路の旗振りを頼むことも大変になっている。今の人は自分にやさしく、他人に厳しい。他人にはいろいろ言うが、自分はやらない人が出てきている。
- ・宮下自治会でホームページができた。自治会や団体からの情報発信が大事、情報の共有化が重要になる

(6) 交通安全対策

- ・町田街道への通学路の道路の交通量が増えている。保育園のところの道が狭くなっていて、子どもたちが縁石から出てしまう。
- ・向陽小正門前の信号のところ母親たちがクルマを止めて子どもを迎えに来る。並びの幼稚園のほうまでクルマの列が伸びていて、横断歩道が塞がれてしまう。交通安全の面で問題がある。
- ・防犯と交通安全はつながる、相乗効果がある
- ・交通事故の3分の2は高齢者。高齢者と子どもを対象にした講習会を開催するといい。

(7) その他

- ・外国籍住民にやさしいまちづくり。
- ・立川線の旧道の舗装
- ・地区社協でつくる会の概要を説明したところ、「小山を子供たちのふるさとにすること」をテーマにしたらどうかという意見がでた。

これらの課題にどのようなスケジュールで取り組むのか、今後検討する。

第5回企画会議を5月30日(火)午後7時に小山公民館で実施する。